

ずっと待ちつちよいますから。

文部科学省特別選定(成人向け)・選定(青年・家庭向け)
日本PTA全国協議会推薦

黒木和雄監督 遺作

紙屋悦子の青春



原田知世



永瀬正敏



松岡俊介

本上まなみ

小林 薫

あいつの分も私はあなたの事は
大事にせんばいかんとです。

原作：松田正隆 監督：黒木和雄 脚本：黒木和雄 山田英樹/製作：川城和実 松原守道 亀山慶二
多井久見 鈴木ワタル/企画：深田誠剛 久保忠佳 梅沢道彦/プロデューサー：河野聡 内藤和也 杉山登
大橋孝史 磯田修一/ラインプロデューサー：板井勉/助監督：清水俊祐/題字：幸松福雄造/スチール：遠崎智宏/
宣伝：トルネード・フィルム/製作：バンダイビジュアル アドギア テレビ朝日 ワコー パル企画/配給：パル企画
(2006/カラー/35mm/113分/ビスタサイズ)

世界の名画を見る会 vol.28 企画・構成 高野悦子

- 14:00～ 講演：高野悦子(岩波ホール総支配人)
「黒木和雄監督を偲ぶ」
- 15:00～ 上映：映画「紙屋悦子の青春」
(2006年/日本/カラー/113分)



高野悦子

2007

5月20日(日)

開場13:30
開演14:00

黒部市国際文化センター

カラーレ(カーターホール)

【全席指定】一般 1,500円

高校生以下 500円(カラーレのみで発売)

- この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。
- 5歳未満のお子様の入場はご遠慮願います。
- 公演中の一時保育(無料)を希望される方は、事前にご連絡ください。

■プレイガイド

黒部市	カラーレ	☎(0765)57-1201
	メルシー	☎(0765)54-2221
魚津市	魚津サンプラザ	☎(0765)24-3030
入善町	コスモホール	☎(0765)72-1105
	コスモ21	☎(0765)74-9100
朝日町	アスカ	☎(0765)82-2000
滑川市	サン・アビリティーズ	☎(076)475-3342
富山市	インフォマート [市民プラザ]	☎(076)491-0110
	[CiC駅前店]	☎(076)444-7013
	アルプラザ富山(ファボーレ内)	☎(076)466-1828
高岡市	高岡市生涯学習センター3F	☎(0766)20-1800

●お問い合わせ・チケットの申込み●

カラーレ

富山県黒部市三日市20番地
TEL. 0765-57-1201
FAX. 0765-57-1207
http://www.colare.jp/
e-mail:info@colare.jp

開館時間：9:30～22:30(土曜～23:00)/毎週水曜休館

紙屋悦子の青春

原田知世 永瀬正敏 松岡俊介 本上まなみ 小林 薫

原作：松田正隆 監督：黒木和雄 脚本：黒木和雄 山田英樹／製作：川城和実 松原守道 亀山慶二 多井久晃 鈴木ワタル
企画：深田誠剛 久保忠佳 梅沢道彦／プロデューサー：河野聡 内藤和也 杉山登 大橋孝史 磯田修一／ラインプロデューサー：板井勉
助監督：清水俊悟／題字：赤松陽輔造／スチール：遠崎智弘／宣伝：トルネード・フィルム
製作：バンダイビジュアル アドキア テレビ朝日 ワコー バル企画／配給：バル企画 (2006/カラー/35mm/113分/ビスタサイズ)



戦火に芽生えた淡い恋。

映画は病院屋上の老夫婦の「回想」からはじまる。

敗戦の色濃い昭和20年・春。

両親を失ったばかりの娘・紙屋悦子は、鹿児島県の田舎町で優しい兄・安忠、その妻・ふさと肩を寄せ合う慎ましい毎日をおくっていた。

そんな彼女が胸に抱く願いは家族の平穏と、密かに想いを寄せる兄の後輩・明石少尉の無事だけである。ところがある日、兄は別の男性との見合いを悦子に勧めてきた。それも相手は明石の親友・永与少尉で、明石自身も縁談成立を望んでいるらしい。傷心を押し隠し、永与との見合いに臨む悦子。

一目惚れしたと言う永与は率直な愛情を示し、緊張のあまりトンチンカンな失敗を繰り返す。そんな彼にいつしか悦子も気持ちを開く。だが、悦子は明石が海軍特攻隊に志願した事実を知ってしまう。死を目の前にし、明石は最愛の人を親友に託そうとしたのだ。

出撃前夜、悦子に別れを告げ、満開の桜が舞い散る中を去っていく明石。その夜、もう会うこともない悲しみに泣き尽した悦子。

数日後、悲痛な面持ちで明石の死を告げに来た永与には、残された者同士の哀しみがあつた。これから共に長い人生を生きる二人の、結婚を決意した最初の一步がはじまるのだった……。

紙屋悦子の青春
黒木和雄監督作品

日本中に感動の渦を巻き起こした『父と暮せば』の巨匠・黒木和雄監督が、2006年4月12日に急逝しました。

映画を愛し、戦争を憎み、平和を希求した75年の生涯でした。

「紙屋悦子の青春」は岸田國士戯曲賞などを受賞した劇作家・松田正隆による傑作戯曲の完全映画化。戦争の記憶の風化が叫ばれる今、戦時下、生き抜く庶民の日常と、生き残った者の心情を鮮烈に、かつ暖かく描き出した本作が、黒木監督の最後の作品となりました。

舞台は終戦を間近に控えた鹿児島の田舎町。春、咲き誇る桜の樹の下で、二人の若者が美しく純朴な娘に恋をし、娘もまた、初めてのときめきに胸を焦がします。それはいつの時代にも存在する輝かしい青春の一ページ。しかし、戦争の業火は、若い命を呑み込み、生き残った者の心にも生涯消えることのない傷跡を刻み込んでいく……。

ヒロイン・悦子役には「サヨナラ COLOR」「大停電の夜に」などの話題作が相次ぐ原田知世。彼女を愛する海軍航空士官二人に扮するのは「隠し剣 鬼の爪」の侍役も記憶に新しい永瀬正敏、映画からテレビまで幅広く活躍する松岡俊介。彼らを見守る悦子の兄夫婦役を名優・小林薫、「群青の夜の羽毛布」主演の本上まなみを配する豪華な演技陣で、戦時下の切ない恋を現代へ蘇らせ、現代を生きる人々に戦争の不条理と決して忘れてはならない記憶を問いかけます。

